

(特非) 開発教育協会

既存の教育・研修に ESD を導入するための の人材育成事業

イベントの
延べ参加者数 70人

イベント参加者
の満足度 80%

活動の全体目標
に対する達成度 25%



ESD ステイクホルダーミーティングの様子

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 人材育成研修プログラムを作成するとともに、本事業に参加する「パートナー団体」を全国4地域から4団体決定した。
- 工夫** コーディネーターチームの知見やネットワークを活用しながら、合宿等を交えて議論を重ねた。

課題

ESDの実践が、いまだ一部関心層によるものに留まっている現状を受け、既存の様々な分野の教育・研修にESDを取り入れることで、ESDのさらなる普及を図る。

活動内容

本事業1年目として、ESDを既存の教育・研修に取り入れるための人材育成研修プログラム及び教材を作成した。それらの作成にあたり、国内外のESDの状況を調査するとともに、研究者・実践者によるコーディネーターチームを編成し、議論を重ねた。また、既存の教育・研修にESDを取り入れる意義を、広くESD関係者と共有するとともに、本事業への参加団体を募ることを目的としてセミナー・ワークショップを開催した。



成果物「報告書および研修用教材
(ツールブック)」

今後の課題

- ・人材育成研修を実施し、その教育・学習面及び地域の持続可能性の側面における成果を、具体的に把握すること。
- ・本事業の成果を外部に共有できる形にまとめ、広く発信すること。